

# 自然休養村緑水園大規模改修

自然休養村管理センター緑水園（南部町下中谷）の老朽化に伴う補修と、施設のバリアフリー化、入浴棟の新設を行う計画です。

9月12日から25日まで9月定例議会が開かれました。提案され、議決となった議案は40議案でした。議決された主な補正予算の内容を紹介します。

※ 平成17年度決算については、11月号で紹介します。



急の修理を行って施設を利用している状態です。また、利用者のニーズの変化に伴い十分なサービスを提供する上で、福祉・高齢者への配慮などの課題が生じています。

そのため今回、次のような改修を行う予定です。

## 主な改修内容

- ・エレベーターの設置
- ・1階身障者用トイレの新設
- ・浴室の増設
- ・屋根の防水補修および外壁の吹きつけ塗装
- ・駐車場の舗装

この改修によって、今まで以上に緑水園が利用しやすい施設となり、今後も緑水湖周辺の地域振興を図っていきます。



予算額 約1億9,000万円

興のかなめを担っています。緑水園は、オープンから25年を経て施設の老朽化が進み、補修が必要となっていると共に、平成12年に発生した鳥取県西部地震によって、屋根や駐車場の舗装にひびが入るなどの被害を受け、現在応

町では約11haのカントリーパーク周辺の土地取得を計画しています。

この土地は、カントリーパークの周辺整備を目的として、駐車場を整備するとともに将来的には公式サッカー場・サブ球場を含む多目的広場を建設し、現在の施設と連携させてスポーツ施設として有効活用を図りたいと考えています。

近年特に、カントリーパークは高校野球の県大会・中国大会の開催会場に指定されるなど、大会開催時には400台を超える車での来場があります。

現在の90台の駐車スペースでは慢性的な駐車場不足となっており、参加者の不便だけではなく、周辺住民の方々にもご迷惑をおかけしている深刻な問題であり早期

解決が必要です。

また、この場所の跡地処理については、過去の議会でも取り上げられてきた懸案事項であり、議会とも相談を重ねてきましたが、(有)日興産業との合意が得られていませんでした。

その後、(有)日興産業より真砂土採取事業の撤退を含めたこの土地の買い取り要請を受け、昨年(平成17年)の3月議会にこの状況を報告し方策を検討してきました。

この土地を取得することで、カントリーパークが長年かかえてきた駐車場問題を解決することができること、また、真砂土採取許可期限が来年4月であり、事業撤退の準備が可能なこと、同時に売買について(有)日興産業と基本的合意が得られることなどを考慮

し、今が事業実施の最善の時期と判断し、この計画を今年9月議会に提案しました。

このカントリーパーク周辺整備の土地取得は、南部町土地開発公社が行い、その費用として約6千万円を予定しています。町は公社に対してこの債務を長期で返済していく予定です。

土地取得後の造成計画については、残土搬入の受け入れを行うことによる収入を見込み、これによって土地買収費と造成費を捻出し、最終的に町財政に負担のない計画としています。

事業計画の地元説明会を開催し、同意を得ながら実施してまいります。



予算額 約6,000万円

カントリーパーク（南部町能竹）周辺の土地を取得して、不足していた駐車場と多目的広場を整備し、総合スポーツ施設として活用する計画です。

# カントリーパーク周辺整備用地購入